

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会スポーツ振興課		■担当係	体育振興係
■評価事業名称	奥羽横断駅伝競走大会開催事業			
■評価事業コード	400500 - 025	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	03 スポーツの振興		
	■施策	02 競技力向上への支援		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	3市の交流と競技力の向上。北上市、横手市、本荘市の3市で持ち回り開催。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01	奥羽横断駅伝競走大会開催事業	高校生・一般		11月2・3・4日 由利本荘～北上間 東北各県対抗6チーム 一般22チーム 高校3チーム 事務局会議4回、実行委員会1回 大会従事3日間

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	384	528	433	525	
人件費	5,846	8,835	8,841	5,429	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,230	9,363	9,274	5,954	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	参加チーム数	19チーム	25チーム	29チーム	31チーム	東北各県対抗の部6チーム、一般チーム数22、高校生3チームの全25チームの参加となった。
04	1チーム当たりコスト	327,894円	374,520円	319,793円	192,064円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☒ A. 順調
☐ B. 概ね順調
☐ C. 遅れている

達成状況の分析

50回を超える伝統ある大会になり、参加チームも順調に増加している。また、スポーツを通じて、国道107号線の横軸連携・交流が図られている。

問題点・課題等

参加チームが増えることにより、宿泊補助金が増加し、大会運営資金を圧迫している。補助のあり方について検討が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☐ 不特定多数に及ぶ
☒ 特定されるが多数に及ぶ
☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
☒ 類似の事業はあるが競合はない
☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
☒ ニーズは変わらない
☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☐ 順位が中程度
☒ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☐ 順位が中程度
☒ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
☒ 他と同程度の事業である
☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
☒ II. 継続
☐ III. 縮小・要改善
☐ IV. 民間活用・協働事業化
☐ V. 廃止・休止
☐ VI. 完了

補足説明